

■ イエス様の時代の福音

- (1) 戦争などで、国の勝利の知らせ
- (2) 新しい皇帝の即位
- (3) イスラエルにとっては、メシアの出現と植民地支配からの解放

■ 聖書が言う福音：イエス様に関すること

■ メッセージのポイント

- (1) イエスは、初めに神とともにおられた神である。

イエス様は、父なる神と人格的に区別される方です。しかし、その本質においては、神と同じです。イエスさまは、一種の神だとか、神のような存在ではなく、完全な神なのです。

イエス様は、天地創造の時にも神と共におられ、共に働きました。造られたもので、イエス様によらずにできたものは一つもありません。イエス様の内にはいのちと光があります。

- (2) イエスは、世に來られたまことの光である。

まことの光は、人の霊を照らし、歩むべき正しい道を示します。そして、その霊を滅びからいのちへと導きます。まことの光のところには、まことのいのちがあります。

イエス様が來られる前、世には別の光がありました。イスラエルの民は、不完全な光に惑わされ、まことの光を受け入れませんでした。

- (3) イエスは、人となって、私たちの間に住まわれた。

人間となったイエス様は、人の肉体をまとして生まれただけではなく、人の性質をもまとしてすまわれました。人としての弱さをも知っていますが、罪を犯すことはありませんでした。

イエス様を受け入れた人は、イエスの内におられる神を見ることとなります。